

# 非正規雇用者の増加で増えた「発見の遅れ」

オーナーだけ  
知らない  
新常識  
②

## 60歳未満の孤独死は年間1714件

連日、「孤独死」関連のニュースが報道される現代社会。その現場の多くはほかでもない賃貸住宅だ。9月には北海道で73歳の生活保護受給者の独居男性が亡くなっているのが発見されたばかり。死後少なくとも3カ月経過していたとされる。孤独死は高齢者というイメージが強いが、40代、50代の働き盛りで死亡するケースも少なくない。事例とデータで孤独死の若年層への広がりを検証する。

### 証言語る

## 原状回復費用が260万円

福岡市で賃貸経営を営むA氏(50)は今年8月、所有しているアパートを訪れた。ある部屋の前にくると「生ごみのような臭いがしたので不審に思った。管理会社に連絡を取って中を確認してもらったところ、入居者が亡くなったことが判明した。31歳男性。契約時の職業は万円の保険会社から支払

は居酒屋勤務であった。家賃滞納はなく、それまでにA氏が男性と面識をもったことはなかった。死後10日の間は何も経過していた。入居者が倒れていた場所が部屋の仕切り部分だったため、

体液が壁の接合部を伝い、階下まで染みだした状態だった。大幅な改装が必要と認められた。原状回復費用は260万円と高額になった。今年7月に孤独死対応保険に加入していたため、

遺品整理の60万円と原状回復費用分として100万円が保険会社から支払

われた予定だ。「孤独死保険にはいっていない。以前に56歳男性が所有物件で亡くなり、死後2週間ほど経過していたことがあったため、

準備がひどく、200万円以上の費用を払うことになりました」とA氏は。以前の経験から孤独

死は「いつでも起こり得る」と、莫大な負担が降りかかる。はじめは身元引受から「莫大な負担が降りかかる。はじめは身元引受

りかかるとの認識が頭からよりとりを押し、損害を自費で済ませたいという。自分を弁償してもらおうと、

「まさか二度も所帯で、家賃債務保証会社を有物件で孤独死が起るとを、利用していたため、引

き、入居者の名前を呼ぶ。すると内側から聞こえた弱々しいノックの音。恐る恐るノックを、

「まさか二度も所帯で、家賃債務保証会社を有物件で孤独死が起るとを、利用していたため、引き、入居者の名前を呼ぶ。すると内側から聞こえた弱々しいノックの音。恐る恐るノックを、

「まさか二度も所帯で、家賃債務保証会社を有物件で孤独死が起るとを、利用していたため、引き、入居者の名前を呼ぶ。すると内側から聞こえた弱々しいノックの音。恐る恐るノックを、

「まさか二度も所帯で、家賃債務保証会社を有物件で孤独死が起るとを、利用していたため、引き、入居者の名前を呼ぶ。すると内側から聞こえた弱々しいノックの音。恐る恐るノックを、

「まさか二度も所帯で、家賃債務保証会社を有物件で孤独死が起るとを、利用していたため、引き、入居者の名前を呼ぶ。すると内側から聞こえた弱々しいノックの音。恐る恐るノックを、

「まさか二度も所帯で、家賃債務保証会社を有物件で孤独死が起るとを、利用していたため、引き、入居者の名前を呼ぶ。すると内側から聞こえた弱々しいノックの音。恐る恐るノックを、

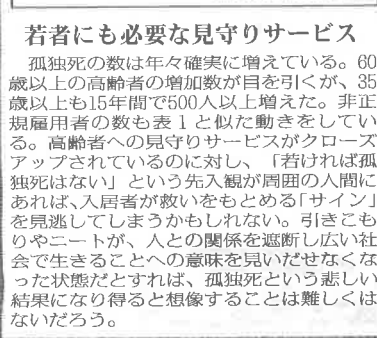
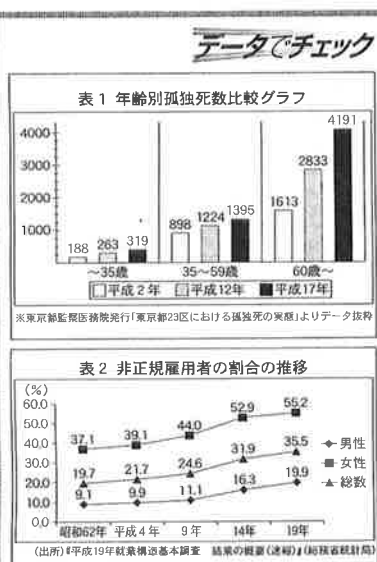
**専門家語る**



アイアル小規模短期保険  
(東京都中央区) 安藤興行社長 (45)

当社の孤独死保険は3000~4000戸に対して1年に1件の想定で金額を設定しています。保険の認可が下りてから1年2カ月たち、初めて適応されるケースが出てきました。現在の契約件数は2200戸なので予想が多いといえます。地す

「孤独死の予防はむずかしいと思いますし、オーナーが防止策の時点から関わる機会はありません。事後にだけ得られる役所に連絡をすればいい」とA氏。今後は保険の補償を充実させる方針で、資金を積み立てる策などを考えているという。



### 若者にも必要な見守りサービス

孤独死の数は年々確実に増えている。60歳以上の高齢者の増加数が目を引くが、35歳以上も15年間で500人以上増えた。非正規雇用者の数も表1と似た動きをしている。高齢者への見守りサービスがクローズアップされているのに対し、「若ければ孤独死はない」という先入観が周囲の人間にあれば、入居者が救いかも知れない。引きこもりやネットが、人との関係を遮断し広げない社会で生きることが、孤独死という悲しい結果になり得ると想像することは難しくはないだろう。

**専門家語る**

アンシア(東京都千代田区)の大江徹営業部長はこう語る。当社の出している孤独死保険の加入者で以前に所見の有物件で孤独死が起きたという方はほとんどありません。

「裁判に勝てない」とご自身にしたのはかなり思いあきらめたという。孤独死の予防はむずかしいと思いますし、オーナーが防止策の時点から関わる機会はありません。事後にだけ得られる役所に連絡をすればいい」とA氏。今後は保険の補償を充実させる方針で、資金を積み立てる策などを考えているという。

### 餓死寸前の入居者を発見

家賃債務保証の負担が重なり、東京都港区、東京第2支店店長の内免由成氏は、先月31日、滞納から3カ月

### 餓死寸前の入居者を発見

家賃債務保証の負担が重なり、東京都港区、東京第2支店店長の内免由成氏は、先月31日、滞納から3カ月

「まさか二度も所帯で、家賃債務保証会社を有物件で孤独死が起るとを、利用していたため、引き、入居者の名前を呼ぶ。すると内側から聞こえた弱々しいノックの音。恐る恐るノックを、

「まさか二度も所帯で、家賃債務保証会社を有物件で孤独死が起るとを、利用していたため、引き、入居者の名前を呼ぶ。すると内側から聞こえた弱々しいノックの音。恐る恐るノックを、

「まさか二度も所帯で、家賃債務保証会社を有物件で孤独死が起るとを、利用していたため、引き、入居者の名前を呼ぶ。すると内側から聞こえた弱々しいノックの音。恐る恐るノックを、